



ゆのはな

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現

第23号
2023年1月
BRCだより

新春のご挨拶



理事長 高田政志

新年明けましておめでとうございます。
令和5年の新春を迎えるにあたり、
ご挨拶を申し上げます。

別府リハビリテーションセンターをご利用いただいている患者様、利用者様、およびそのご家族や関係者の皆様には、日頃からご厚情賜り心から感謝を申し上げます。

私は昨年6月の理事会で理事長の大役を仰せつかり、その責任の重さを痛感しながら日々業務にあたっております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症でオミクロン株の流行・派生により、第6波および第7波が発生し、年末に

は第8波の発生やインフルエンザとの同時流行の懸念が高まってきました。当法人は、これまで入院患者様に新型コロナウイルス感染症の陽性が確認されてきませんでしたが、8月に初めて陽性者を確認し、その後集団感染(8月29日から9月14日)が発生する事態となりました。この間、当法人の使命である社会復帰に向けたリハビリテーションを入院患者様に十分に提供できず、また入院患者様のみならず関係機関の皆様などに大変なご不便、ご迷惑をおかけすることとなりました。この場を借りてお詫び申し上げます。役職員一同、引き続き感染防止対策を徹底し、患者様、利用者様の安全・安心を第一に考え対応してまいりますので、何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。

今年は当法人の設立50周年の年にあたります。当法人は交通事故が激増していた時代に交通事故による後遺障がい者の方々の社会復帰支援を目的に、JA共済連が設立母体となり、昭和48年4月に重度身体障害者更生援護施設(定員50名)と病院(定床50床)で設立いたしました。その後、

施設の新増設等を重ねながら、今まで着実に歩んで来れましたことは、ひとえに、地域の皆様をはじめとして、大分県、別府市、福祉・医療機関、およびJA系統組織等の多大なるご支援によるものであり、また役職員の努力の賜物であると考えております。あらためて当法人の原点に立ち返り、基本理念である「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」を念頭に置き、1日も早い社会復帰のお手伝いをさせて頂く所存でございます。

最後に、私たちは昨年までコロナ禍で日常生活や経済活動の制限などで苦しんでおりました。今年はうさぎ年にあたり、うさぎ年は飛躍の年と言われております。今年こそはコロナ禍が明け、生活環境や社会経済が好転し、皆様がしあわせな1年になることを祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。

令和5年1月1日



新規装置導入 移動式CアームX線透視装置

診療画像課業務の中でX線透視装置の主な役割

当センター診療画像課では、診療放射線技師3名にて、

- ① マルチスライスCT
- ② 一般X線撮影装置
- ③ フラットパネルシステム
- ④ X線透視装置
- ⑤ デジタル式超音波装置
- ⑥ PACS

などをフレキシブルに活用した、リハビリテーションに特化した診療に携わっております。

④に示すX線透視装置は、これまで床に固定された据置型の装置を使用してきましたが、令和4年度に更新時期を迎え、当センターの特徴に適した柔軟性があり、診断能が高く、コストパフォーマンスに優れた装置を、様々なメーカーの情報をもとに検討しました。結果、従来の据置型ではなく、移動式フラットパネルCアームX線透視装置を導入しました。

移動式CアームX線透視装置



移動式CアームX線透視装置の特徴

装置は富士フィルムメディカル製の『CALNEO CROSS』CアームX線透視装置で、フラットパネル検出器を搭載し、解像度の向上と同時に被ばく線量を大幅に低減することも期待できます。

本装置は、様々な取り回しが効くことに加えてフラットパネルが着脱自由なために、幅広い検査に柔軟に対応することができます。



嚥下造影検査(VF検査)その他の応用について

嚥下造影検査とは、X線透視下において食事や水分の咀嚼・飲み込み状況などを確認する検査です。飲み込み機能低下による誤嚥は肺炎の原因となることが多いため、安全に食べることができる姿勢や食材の種類・量、食べ方(食べさせ方)を医師が評価し、担当スタッフ皆で共有してリハビリテーションをおこなっていきます。

検査結果は、医療スタッフのみでなく、ご家族に説明する際においても、ご本人の表情や様子を理解しやすくなるように、X線透視画像に加えて、ご本人の様子を(正面・側面)同時に映し出します。さらに食事の種類・形態・



VF(嚥下造影)検査画像

画面左にX線透視画像、右上に側面像、右中央に正面像、右下に食事の種類・形態・量などを同時に表示、連動した動きを確認できます。

※X線透視画像は、加工処理を加えています

量などが一目で分かるように加工・編集されています。

移動式CアームX線透視装置は、嚥下造影検査のみでなく骨折部位の

超音波治療の位置を正確にマーキングする目的や、経鼻経腸栄養チューブ挿入時の確認目的など、より精密な診断・正確な治療へと多目的に活用されています。

また、本装置はバッテリーが搭載されており、電源ケーブルをつながずに一定時間の検査が可能であり、停電や災害時のBCP(事業継続計画)運用にもおおいに期待できます。

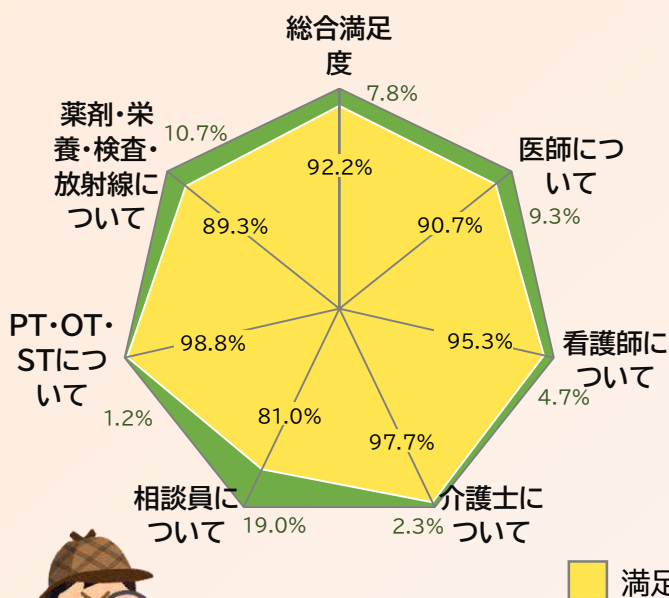


診療支援部 診療画像課 スタッフ
左から、中野・末吉・都地

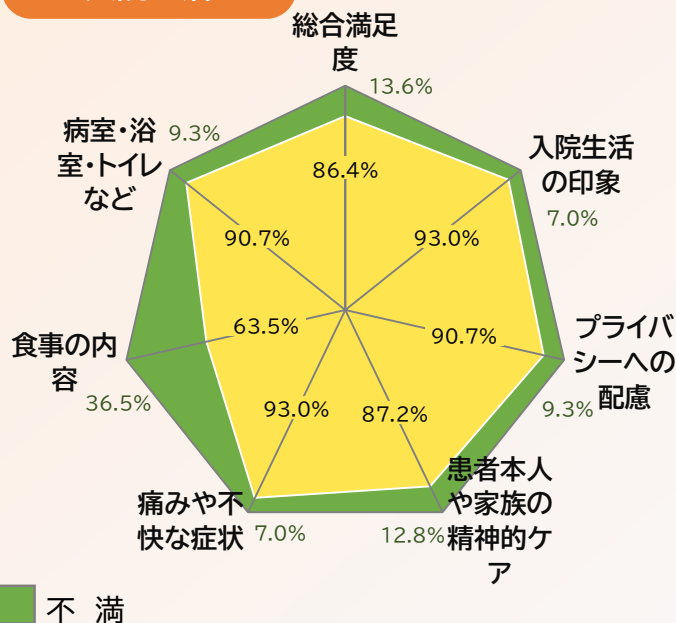
入院生活に関するアンケート調査結果



職員の対応



入院生活



調査期間 令和4年8月～11月 対象:期間中に退院された患者様 86名



【調査結果について】

回復期リハビリテーション病棟では、「入院生活に関するアンケート調査」を実施しています。令和4年度のアンケート結果を報告いたします。

【職員の対応について】

職種によってやや差があるものの、総合的に92.2%満足と答えていただきました。職員の対応対話はコミュニケーションの基本であり、患者さんやご家族への入院生活に直接影響を与えるものだけに、日頃から教育や指導には力を注いでいる所ではあります。「挨拶が気持ちよかった」「細やかなメンタル面の支援や体調への配慮がありがたかった」などのお言葉もたくさんいただいておりますが、一方で「年上に対する話し方でない気がする」というご意見もいただいております。真摯に受け止めて職員への接遇教育などに留意してまいります。

【入院生活について】

総合的には満足をいただいた印象ではありますが、食事の内容については36.5%の方に満足いただけない結果と

なりました。

「JA関係なので新鮮な野菜、果物を期待しています」とのご意見もいただいております。「季節の行事の献立」や「選択メニュー」などは好印象でした。満足された方がほとんどであることは、数値からもみえてきますが、一方で若干の人数であっても、入院生活に不満を持たれたまま退院された患者様やご家族の皆様には、誠に申し訳ございませんでした。いただいたご意見をもとに入院生活が快適に過ごせますよう改善に努めてまいります。

【感謝のお言葉】

「職員の皆様すべての方々に感謝しています。本当にありがとうございました。弱音を吐きたいときもあったけどすべての方々の応援で頑張れました。ありがとうございました。言葉しか今はありません。」「入院して3カ月近く、スタッフの皆様には大変お世話になりました。コロナ禍の中、家族との面会もままならず、体調もなかなか改善しなくて不安を抱える毎日を過ごしている中、皆さんには優しい言葉や、時には叱咤激励の言葉をかけていただ

くことで、今日まで前向きに頑張ることができました。職場に復帰して頑張っていこうと思います。」「高度の専門知識、技術をもった多くの方々の御指導、御支援に支えられ、発症前に近い状態で退院出来そうです。」など、ありがたいお言葉を頂戴しました。

【まとめ】

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見等をもとに、患者様やご家族とのふれあい・思いやりの心を大切にしながら、サービスの向上・改善に取り組んでまいります。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

医療サービス向上委員会 委員一同





温泉を利用した運動浴について



当センターでは、別府の地の利を活かして温泉水を利用したプールでの運動浴を行っています。

主に骨関節疾患による下肢の免荷時期や痛みの強い方、また体重軽減や全身持久力を向上させたい方などを対象に提供しています。

運動浴の効果

- 水の粘性を利用した筋力増強や持久力向上
- 浮力による下肢の免荷による疼痛軽減

温泉水による温熱効果、リラクゼーション効果等も期待でき、創傷治療やQOL(生活の質)の改善が見込めます。



1)田中知行:リハビリテーションと温泉療法 Geriatric Medicine 2006.44

令和4年度 秋の大運動会を開催しました♪

今年も「秋の大運動会」を開催しました。四季折々のイベントを患者様に提供することで余暇時間の充実と同時に入院生活の中で楽しみを感じていただけるように、スタッフ一同で準備しました。開催にあたっては、十分な感染対策への配慮をおこないました。

個別に競技参加できるように競技内容や、みんなで協力し合う団体競技を取り入れて、大いに盛り上がりました。普段とは違う患者様の笑顔や隠れた身体能力を発揮できる時間となりました。今後も、季節を感じ楽しめるイベントを提供できるように工夫してまいります。



キックボローリングはストライク!!



風船飛ばしゲーム



お尻でケツ圧測定



大玉転がし!



社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

製作：診療事業部門
医療サービス向上委員会

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10
TEL:0977-67-1711 FAX:0977-67-1712
URL:<https://brc.or.jp>

